

2005年度（平成17年度）

特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター

事業報告書

もくじ

2005 年度(平成 17 年度)事業の振り返りと今後の展望	1
2005 年度(平成 17 年度)重点事業について	2
I. 自主事業	2
1. 会員数	2
2. NPO の啓発事業	3
3. 相談事業	9
4. ネットワーキング事業	9
5. 調査研究事業	11
6. 子育て支援事業	12
7. インキュベーション事業(阪神北 NPO ハウス)	16
8. インターン受入	19
9. ボランティアの参加	19
10. 寄付	20
11. 17 年度新規事業	21
II. 市民活動促進支援事業	23
1. 特定非営利の公益活動を行う団体の法人化に向けた相談支援業務	23
2. 特定非営利の公益活動を行う団体の法人設立後の運営全般に係る相談業務	25
3. 協働のまちづくり推進の基盤である「まちづくり情報センター」整備及び運営管理	29
4. まちづくり協議会等のコミュニティ・ビジネスの相談及び事業化支援	29
5. エコマネー支援業務	30
6. インターネット市民のページ管理	32
III. 生きがいごとサポートセンター阪神北事業	34
1. 事業実績一覧	35
2. 事業実施に当たっての環境	37
3. 事業の具体的実施内容	41
(1) コミュニティ・ビジネス等での就業を希望する者の開拓・把握・活用	41
(2) コミュニティ・ビジネス等での就業(雇用または委託契約)を希望する者への支援	43
(3) コミュニティ・ビジネス等を自ら起こそうとする者への支援	44
2005 年度会員・寄付者名簿	54
2005 年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書	56
2006 年度特定非営利活動に係る事業計画書	57
2006 年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書	59

2005年度(平成17年度)事業の振り返りと今後の展望

特・宝塚 NPO センター 事務局長 森綾子

平成10年に設立してから、丸8年が過ぎました。その間、肩に力を入れ、必死で走ってきた感があります。

宝塚市からの委託事業も、平成11年からですから7年間の実績を積みました。市とNPOを結ぶ中間支援組織として、役に立てるセンターを目指し、毎年利用者のニーズに合わせながら、事業を行ってきた結果、NPO法人も市内では46法人と増えています。

また、兵庫県からのコミュニティ・ビジネス起業支援の生きがいしごとサポートセンター事業も4年間の実績の元、100人以上の社会事業家を育成・支援してきました。

自主事業では、16年度末から17年度にかけて起業家のためのインキュベーション事業を開始し、軌道に乗せました。また、16年・17年と実際に保育事業も行い、18年度からは「NPO法人保育ネットワーク・ミルク」に委託することができました。今後も中間支援組織としては、また、新たな子育て支援事業に取り組みます。

自主事業の目玉は、「レビューの街・宝塚 みんなで歌おうコンサート」です。17年度は第6回目のコンサートを開催できました。この事業の成果は理事や実行委員会の功績です。会員のための、会員募集のためのコンサートとして始めた事業ですが、今後の継続をさらに望むところです。

すべての事業に共通している重要な事業は相談事業です。17年度は、Eメールでの相談も増え、面談や電話相談も含め1万件以上に件数になっています。すべての基礎は相談です。利用者や支援者のニーズも相談から入ってくるからです。これからも1件1件の相談に心を入れて対応し、次への新メニューに変換していきます。

最後に18年度に向けての働き方ですが、ここで、少し力を抜き働く人にも優しい特・宝塚 NPO センターにしたいと思います。今まで必死で走ってきた結果、しんどくて辞めていった人が多くいます。有能な人に去られた体験は辛いしこりとなっています。もうこれ以上頑張らなくていいのではないかと、自分に言い聞かせています。

楽しい仕事であること。生き生きできるという生きがい感が持てること。そして、役に立つセンターを目指していくことで、それが社会のためになり、ひいては最終的に自己実現につながるような働き方をスタッフ全員ができるよう頑張ります。

それにはスタッフはお互いに協力しながら事業を行い、各々の能力が発揮できるよう努めていきます。

今後は8年間の実績を踏まえ、謙虚でいながら自信も持つという姿勢でやっていきます。

2005 年度重点事業について

本年度は NPO 法が制定され 8 年となり、NPO 法人や各団体の運営の相談内容も事業の発展に伴い、より専門的かつ高度になってきている。特に支援をしている中で会計相談が一番の課題であることがわかった。そこで「平成 17 年度ひょうごボランティア基金中間支援活動助成金」の交付を受け「NPO 法人のキャパシティ・ビルディングを実現する会計相談事業」を実施。「コミュニティ・ビジネス・コンサルティング事業」からは登録コンサル会計専門家の協力を得て、ケースごとに個別相談を実施することができた。

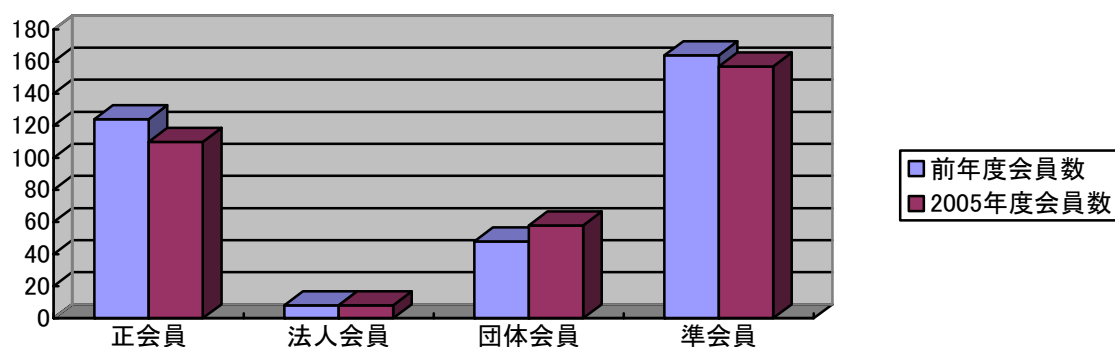
相談体制については中間支援センターのサポートとしてかねてからの「宝塚 NPO センター事業」支援のノウハウに加え「生きがいしごとサポートセンター阪神北事業」の起業支援の経験を生かして横断的にサポートすることに努め、さらに阪神 NPO 連絡協議会などのネットワークの強みを生かすなどしてセンター機能をフルに発揮することを目指した。

2 年目を迎えた「インキュベーション事業」については、全労済・近畿ろうきんの協力や兵庫県の補助金、ひょうごボランティアプラザの奨励金などを得て、官民協働でインキュベーション・センター機能を整備。起業希望者の事務所機能のみならず、ここでは経営面のコンサルティング・サービス提供やネットワークを紹介。ブログを使った効果的な情報発信に注力した。また入居団体に限らず交流スペースを地域に開放し、地域住民との連携を重視し地域に開かれたインキュベーション・センターとなりつつある。

I. 自主事業

1. 会員数

	正会員	法人会員	団体会員	準会員	合計
前年度会員数	124	8	48	164	344
2005 年度会員数	110	8	58	157	333
増減（前年度比）	-14	±0	+10	-7	-11



2. NPOの啓発事業

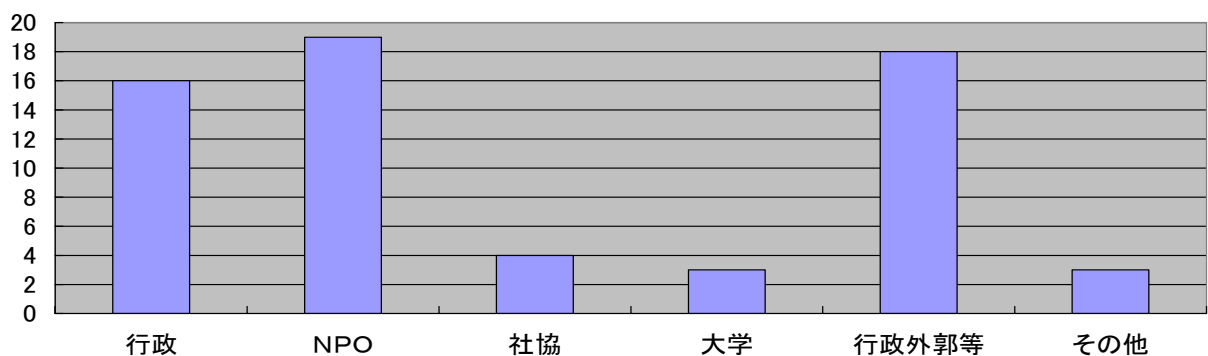
(1) 啓発・講演

〔講演一覧〕 合計64件

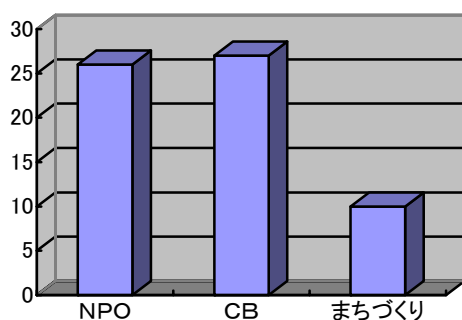
月	日	主催	講座・研修名等	テーマ
4	18	はなみずき作業所	職場研修	NPOについて
5	11	明石市役所	新任専門員研修	住民参加型社会におけるNPOの役割
5	11	宝塚市V. 活動センター	助成金申請書書き方講座	各種助成金申請書の書き方について
5	15	(特) 大阪府民環境会議	市民フォーラム2005	協働やねん 環境政策評価と市民参画を考える
5	16	(特) 市民事務局かねこし	(特) 市民事務局かねこしNPO法人設立のご報告	中間支援の現場から
5	17	湖南社会福祉協議会	湖南市V. センター ふれあい オープニングセレモニー	まさかの時ごりかできるか
5	25	箕面市社会福祉協議会	平成17年度ボランティアグループ連絡会総会	ボランティアグループとNPOの違いを活かして
6	1	(財) 丹波の森協会	丹波OB大学院地域活動講座	受講生グループワークの指導
6	23	関西学院大学	タカラヅカ学	宝塚のNPO活動
6	25	(特) わかやまNPOセンター	シンポジウム「NPOから考える公共施設の運営」	新しい「公」のあり方と「民」の力
7	10	男女共同参画グループ「いき生きライフ」	NPO講座	NPOの設立から活動までのノウハウ
7	13	(財) 丹波の森協会	丹波OB大学院地域活動講座	受講生グループワークの指導
7	31	edge実行委員会	社会起業家をめざす若者のためのリレー講座	社会起業家のことは社会企業家へ聞く
8	20	みやざき女性政策研究会	研修会	協働と指定管理者制度の生かし方
9	9	大阪府市民局・勤労施策室	コミュニティ・ビジネス入門セミナー	コーディネート 事例発表
9	10	大阪環境学習センター	環境学習リーダー養成講座	NPO運営と事業マネジメント
9	10	豊中インキュベーションセンター	コミュニティ・ビジネス入門講座	地域の課題を解決するコミュニティ・ビジネス
9	14	NPOサポートセンター鹿兒島	コミュニティビジネス事例	成功のコツ、失敗のコツ
9	14	(財) 丹波の森協会	丹波OB大学院地域活動講座	ボランティア体験発表と講義
9	26	(社法) 大阪府総合福祉協議会	高齢者コミュニティーワーカーズ研修会	新事業の開拓とNPO法人化をめざしてー夢と魅力のある活動とはー
9	28	(財) 兵庫県高齢者生きがい創造協会	高齢者リーダーパワーアップ講座	地域活動グループの結成 NPO法人の活動と今後について
9	29	大阪府市民局・勤労施策室	コミュニティ ビジネス入門セミナー	コーディネート 事例発表
10	1	兵庫県北播磨県民局	NPO大学連携講座 マネジメントコース	”強み”を活かす事業戦略
10	6	大阪府環境情報センター	環境コーディネーター養成講座「はなこ環境塾」	市民公益活動ー組織運営と事業マネジメント
10	9	福岡市	福岡市NPOボランティア交流センター運営3周年記念	NPOの情報発信について
10	15	A' ワーク創造館	ダッシュ セミナー	法人の選り方・作り方
10	20	大阪府立女性総合センター	女性グループ・ネットワークのための組織開発講座	事務局スタッフの意識と役割
10	21	NPOサポートセンター鹿兒島	IT活用による起業・経営戦略塾	ブログを活用したマーケティング
10	22	枚方市立地域活性化支援センター	起業家フォーラム IN きらら	起業家を目指す人達のためのパネルディスカッション
10	23	(特) 市民活動フォーラムみのお	コミュニティ・ビジネス支援セミナー 基調講演	コミュニティ・ビジネスを起業してみませんか
10	24	(特) 市民活動フォーラムみのお	コミュニティ・ビジネス支援セミナー	高齢者福祉サービスに関するCB事例
10	27	A' ワーク創造館	CB起業家養成講座	事例紹介 CBの起業支援事例
10	29	(特) おおさか元気ネットワーク	市民が変える暮らしと地域	今 コミュニティ・ビジネスが面白い!

11	2	大阪市民民局・勤労施策室	コミュニティ ビジネス入門セミナー	コーディネート 事例発表
11	3	日本生命済生会	地域福祉研究協議会	地域福祉への学際的アプローチ (災害)
11	6	(特) 市民活動フォーラムみのお	地域着陸カレッジ	NPOが社会を変える
11	9	(財) 丹波の森協会	丹波OB大学院地域活動講座	終了後の活動計画について
11	15	あすとHall (泉大津市)	コミュニティ・ビジネス入門講座	コミュニティ・ビジネスの可能性
11	17	A' ワーク創造館	CB起業家養成講座	ワークショップ 事業計画書作成
11	18	猪名川町教育委員会	人権教育セミナー	女性と人権
11	18	兵庫県立宝塚高等学校	宝塚高校人権学習会 (生徒・保護者対象)	「我が街『宝塚』で出会えることへボランティアの薦め」
11	19	(特) 市民活動フォーラムみのお	コミュニティ・ビジネス支援セミナー	グループディスカッション 思いを形にする為に
11	22	あすとHall	コミュニティ・ビジネス入門講座	コーディネート「地元団体による活動紹介」
11	24	A' ワーク創造館	CB起業家養成講座	講師・専門家による個別アドバイス
11	26	(特) 市民活動フォーラムみのお	コミュニティ・ビジネス支援セミナー	発表 思いを形にする為に
11	29	あすとHall	コミュニティ・ビジネス入門講座	コーディネート「コミュニティ・ビジネスの現状」
11	30	(財) 丹波の森協会	丹波OB大学院地域活動講座	1年生との合同学習
12	6	あすとHall	コミュニティ・ビジネス入門講座	「起業家カフェ」INあすとHall 交流会
1	20	イベント学会	05年度兵庫大会シンポジウム	災害を生き抜くイベント
1	21	小野市男女共同参画センター	男女共同参画 就業支援セミナー	自分らしく働くとは起業というカタチ
2	3	箕面市役所 職員課	職員研修 (理事・副理事)	コミュニティ・ビジネスが地域を変える
2	4	A' ワーク創造館	コミュニティ・ビジネス起業家養成講座	CBの起業支援事例
2	8	(財) 丹波の森協会	丹波OB大学院地域活動講座	卒業論文の作成
2	14	(特) シニアパワーを活かす会	NPO講座	NPOの基本概念と活動の現状
2	16	大阪府環境課	環境学習リーダー研修	地域ご活用はここ
2	16	(特) 大阪府民環境会議	環境NGO/NPOのための組織マネジメント実践講座	組織マネジメント・ファンドレイジングとマーケティング
2	17	西宮市男女共同参画センター	NPO・NGOのための組織を動かすマネジメント講座	管理能力が組織をつくる
2	24	西宮市男女共同参画センター	NPO・NGOのための組織を動かすマネジメント講座	計画立案能力が組織を発展させる
2	18	(株)地球の芽	エコ村コミュニティ・ビジネスセミナー	CB支援についてのアドバイス
3	4	大阪市	コミュニティ・ビジネス	コミュニティ・ビジネスの起業とは
3	6	いずみの学園	ボランティア講座	今必要とされているボランティアとは
3	17	近畿経済産業局	中心市街地活性化フォーラム	CBが地域を変える
3	19	狭山市人権広報グループ	男女共同参画推進啓発講座	地域のシゴトで生きていこう
3	23	A' ワーク創造館	主婦の起業講座	私にとっての起業

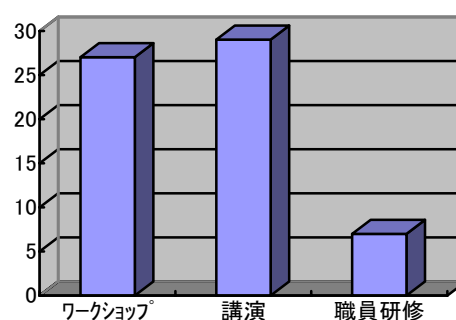
< 依頼先別件数 >



<テーマ別>



<形式別>



[取材・寄稿等] 合計 11 件

NO	月	日	団体名	内 容
1	5	31	大阪ガス	エコマネーについて
2	6	8	日本総研	NPO活動が地域に与える効果
3	6	9	宝塚市中央図書館	宝塚辞典作成のための原稿について
4	6	22	(財)日本女性学習財団	月刊「We learn」 活動情報
5	7	20	兵庫県知事室広報課	「ニューひょうご」地域密着・コミュニティビジネス
6	8	12	環境省近畿環境館	近畿環境館情報誌 近畿地方の環境拠点施設のあり方について
7	10	22	NPO 法人 ETIC(エテック)	(特)宝塚NPOセタ設立とコミュニティ・ビジ初立ち上げ支援に至るまでの経緯
8	12	20	読売新聞	阪神大震災聞き書き被災地へ 自立した市民活動
9	1	5	毎日新聞	インターネット「ググ」で阪神間住民を対象に「地域安心お助けネット」で相談
10	2	25	サンケイリビング	市民が住みやすい街に地域のことなら気軽に相談を
11	3	30	A'ワーク創造館「夢耕場」	NPOを支えるファンドレイジングとキャパシティビルディング

[後援・共催等] 合計 16 件

NO	月	日	事業名	主 催
1	5	9	第7回世界食糧デー宝塚大会	世界食糧デー宝塚大会実行委員会
2	5	16	科学コミュニケーション活動2005(子どもゆめ基金助成事業)「カフェ・シアンティフィック」	(特)科学と市民社会のコミュニケーション
3	5	16	科学コミュニケーション活動2005(子どもゆめ基金助成事業)「サイエンス・フェア」	(特)科学と市民社会のコミュニケーション
4	6	21	楽しい朗読	オフィス・ナウ
5	6	21	コミュニケーション・スキルアップ講座	オフィス・ナウ
6	6	23	笑路庵 中山寺落語会	笑路庵
7	7	25	オープンガーデンから始まる楽しいまちづくり	(特) さわやか緑花クラブ
8	8	8	ジャズチャリティーコンサート	宝塚障害福祉市民懇談会
9	9	13	第11回阪神・淡路大震災犠牲者追悼のつどい	ボランティア団体ユアアイアソシエーション
10	9	28	平成17年度 秋のイベント講座	(特)さわやか教育プラザ
11	10	17	10代のためのボランティア講座	C. U. P
12	10	18	NPO 団体・ボランティア団体交流会	(特)ひかり
13	10	21	第23回歌謡コンサート「岸わたる&歌仲間」	(特)コンソレーション・ネットワーク
14	11	7	笑路庵中山寺ラクゴレンジャー	笑路庵
15	12	16	めふ親子カーニバル	みるくつく宝塚
16	1	10	第3回いながわオープンガーデン	(特)さわやか緑花クラブ

(2) 講座等

[基礎講座]

No	実施月日	参加数	内容	
1	4月20日	7	NPOについて知りたい、NPOを立ち上げたいなどNPOへの導入としての基礎的な学習	
2	6月8日	3		
3	7月20日	2		
4	8月24日	5		
5	9月21日	0		
6	10月15日	10		
7	11月9日	5		
8	12月14日	0		
9	1月11日	7		
10	2月8日	0		
11	3月8日	0		
	合計	39		
出前講座				
No	実施月日	出前先	人数	講師
1	4月18日	はなみずき作業所	8	森
2	12月13日	はなみずき作業所	8	吹曾
3	1月18日	とことこ	4	森

(講評)

- ・NPO法人化を希望する団体に「NPO法人にすれば、信頼してもらえるから、なんとなく」といったケースがあり、NPO法人として充分継続していけるだけの実力を備えていくために、センターでは講座や研修等のこまめな情報提供が必要となる。このNPO基礎講座はNPOの入門編ではあるが、NPO法人の事例を多く取り入れながら、NPO法人の直面する現状を盛り込んでいる。
- ・最近の起業ブームを反映して、コミュニティ・ビジネスについても関心が高く基本的な知識や実際のコミュニティ・ビジネスの現場や実践者からの話を聞きたいとの意見が講座受講者からのアンケートでも多くみられた。次年度は事業の発展段階に応じた講座を組むことは当然のことながら、受講対象者を考慮に入れた講座（NPOボランティア講座、コミュニティ・ビジネス入門講座など）を開講する必要があると感じている。

(効果)

- ・参加者を大きく分類すると
 - ① 一般知識の習得
 - ② なんとなくNPO法人を作ったら、イメージがいいから立ち上げたい
 - ③ 指定管理者になるために行政から立ち上げるようにいわれた
 - ④ NPO法人でコミュニティ・ビジネスを立ち上げたい
 - ⑤ 今までの団体をNPO法人化して、組織として継続させていきたい
 - ⑥ NPOでボランティアをするために、実態を知りたい（リタイア男性）
 - ⑦ 行政書士など士業の参考とするため

上記の通り様々な事由で参加。講座の開始時に参加事由を極力たずねて、参加目的を満足してもらえよう講座を進め、終了後に例えばNPO法人申請書類を持参していて設立が急務な場合は、

専門のスタッフを紹介し親身になって申請書類の作成や設立総会の運営支援、設立登記申請書類の作成を支援。ボランティア希望者には今までのキャリアを活かせるよう市内 NPO 法人へのコーディネートを行った。実際に特・宝塚市国際交流協会等にご紹介したケースが数件あった。

[実務講座]

No	実施月日	研修内容	参加数
1	4月20日	助成金申請に強くなる	7
2	6月15日	法人設立後の諸手続き	0
3	8月17日	助成金申請に強くなる	0
4	10月19日	法人設立後の諸手続き	4
5	12月21日	事業報告書の作成	3
6	2月15日	理事会・総会の開き方	0
	合計		14

(講評)

- ・市内 NPO 法人だけではないが現状としては事業が繁忙なために、事務局に割ける時間、人員、資金が十分でなく事務局の意識や機能が低いことが、参加人数が少ないことの原因である。
- ・今年度の講座は「助成金申請に強くなる」「法人設立後の諸手続き」「役立つ事業報告の作り方」など法人の発展段階に応じた内容を企画し、実践にすぐに役立つ参加しやすい内容を重視した。
- ・NPO 法人の発展段階で例えば委託事業を受託したり、指定管理者になる場合は事務局機能が十分でないと受託できるだけの体制が整わない。今後 NPO 法人の体力が付き新しい事業を展開するに当たり、行政や公の機関から事業を受託するような段階で事務局の重要性が認識されることは必須で、NPO 法人自体のボトムアップのためにも研修を継続していく必要性が感じられる。

(効果)

- ・アンケートにあるように例えば、事業報告の作成など本来の意義を考えないままに機械的に提出されたケースが散見される。この研修を通じて NPO 法人の社会的意義を認識してもらい、情報公開や法人としての社会的ルールの責任を果たすことを理解してもらえた。
- ・事務局と事業を兼務する NPO 法人がほとんどであるだけに、講座も時節に応じ時間内に効率よく理解し、すぐに実践に役立つなど工夫に努めた。

[ニュースレター]

号数	NO. 41	
発行日	2005年4月20日	
内容	1頁	より専門性を目指してー2005年度の抱負
	2頁	みるくっく宝塚ーめふ子どもカーニバルー
	3頁	市民活動ひろば、宝塚まちづくりフェスティバル with コミュニティ、都市再生フォーラム
	4頁	第6回定時総会案内、宝塚 NPO サロン、NPO 基礎講座、実務研修、会計相談

号数	NO. 42
発行日	2005年6月20日

内容	1 頁	組織の強化と事業部門制への移行－2005 年度の抱負(パート2)
	2 頁	第 6 回定時総会報告
	3 頁	市民のひろば、基礎講座、実務研修、会計講座、宝塚 NPO サロン
	4 頁	宝塚 NPO サロン、阪神北 NPO ハウス入居団体募集

号数	NO. 43	
発行日	2005 年 8 月 20 日	
内容	1 頁	私と NPO 特・コスモスサービス宝塚 山田 信和
	2 頁	本音トーク
	3 頁	宝塚 NPO サロン案内、FM宝塚定期放送、みるくっく宝塚案内
	4 頁	宝塚 NPO サロン、みんなで歌おうコンサートサポーターご協力のお願ひ、エコマネークリーン大作戦参加者募集

号数	NO. 44	
発行日	2005 年 10 月 20 日	
内容	1 頁	私と NPO 関西学院大学社会学部 家田 葵
	2 頁	本音でトーク
	3 頁	宝塚 NPO サロン 9 月例会報告、FM宝塚原稿募集中、エコマネークリーン大作戦活動報告、みるくっく宝塚ボランティア募集
	4 頁	宝塚 NPO サロン、「子ども未来プラン策定へ向けて」リレー・ワークショップ in 宝塚、みんなで歌おうコンサートサポーターご協力お願ひ

号数	NO. 45	
発行日	2005 年 12 月 20 日	
内容	1 頁	私と NPO 特・ひかり 上野 晃司
	2 頁	本音でトーク
	3 頁	「子ども未来プラン・リレーワークショップ」開催案内、地域ビジネス交流サロン開催
	4 頁	宝塚 NPO サロン、NPO 基礎講座、実務研修、阪神北 NPO ハウスセミナー、プレーパークボランティアリーダー募集案内

号数	NO. 46	
発行日	2006 年 2 月 20 日	
内容	1 頁	私と NPO 特・C.U.P 田川 貴子
	2 頁	本音でトーク
	3 頁	まちづくり総合フォーラム NPO 活動紹介パネル展開催案内、めふ親子カーニバル開催報告
	4 頁	宝塚 NPO サロン、NPO 基礎講座、実務研修、阪神北 NPO ハウスセミナー

3. 相談事業

相談は宝塚市内外の方を対象に、NPO法人の立ち上げから運営相談に至るまで多岐にわたる相談事項が寄せられた。NPO法施行から6年が経過し、法人からの相談も定款変更など事業の進展に伴う内容が増加しています。相談事業は、宝塚市内からの相談は後述の委託事業「市民活動促進支援事業」に、コミュニティ・ビジネスについては「生きがいごとサポートセンター阪神北事業」を参照。

[月別全体相談件数]

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市内	136	126	160	167	120	191	175	141	127	168	120	81	1712
市外	185	132	214	238	206	133	237	189	146	158	92	76	2006
合計	321	258	374	405	326	324	412	330	273	326	212	157	3718

[助成金申請相談]

6月20日	ボランティアプラザ助成金制度説明会	ソリオホール会議室1	24人
7月15日	助成金申請書の書き方説明会	宝塚NPOセンター生きがいごとサポートセンター阪神北	7人

[個別相談団体]

チャレンジ助成（11団体）パワーアップ助成（3団体）ボランティア活動助成（3団体）

[チャレンジ助成推薦団体]9団体の推薦を行ったが1団体（特・市民事務局かわにし）のみが採択される結果となった。

4. ネットワーキング事業

(1) みんなで歌おうコンサート

宝塚NPOセンターの設立1周年記念として開催をした「みんなで歌おうコンサート」は会員の皆さまへの感謝とNPOへの支援活動を歌に託して、宝塚市内在住の音楽指導者や音楽関係者、宝塚歌劇団出身者たち7人がNSSC（NpoをSongでSupportするClub）を結成し継続開催をしている。第6回目になる今回のコンサートは、阪神・淡路大震災10周年記念事業に採択され、「震災メモリアル～未来に向けて」をテーマに2年間を費やして企画会議を重ねて準備してきた。子どもミュージカルやミニベル演奏などもあり、コンサートを通じて世代を超え鎮魂と追悼そして感謝の気持ちを共有し心温まるコンサートの開催となった。震災を体験していない子ども達にも「命の大切さ」「人の優しさ」を継承することができ、文化、芸術分野の人材や資源のネットワークの拡大にも期待することが多い。次回は、NPOセンター10周年記念コンサート開催を、2008年春に予定している。

[実行委員会開催記録]

NO	月	日	内容	参加数
1	4	21	助成金申請手続き、日程、会場検討、「あゆみ」原稿	7
2	5	19	協賛広告用「あゆみ」作成、コンサート内容検討	7
3	6	23	総合練習、公募参加者、要綱検討	6
4	8	25	協賛、広告、コンサート内容の検討	7
5	9	22	コンサート内容決定（出場者、選曲等）	7
6	10	13	チラシ・ポスター検討 交流会内容	7
7	11	10	コンサートの構成作成、広報紙掲載依頼書作成	7
8	12	14	台本内容検討	7
9	1	19	チラシ、ポスター、チケット校正、公募案内作成	7

10	2	11	ソリオ第3会議室 総合練習	58
11	2	27	ソリオホール打ち合わせ、プログラム作成、著作権申請	7
12	3	16	コンサート事前打ち合わせ(役割分担)	7
13	3	25	コンサトリハーサル、公募指導	96
14	3	26	コンサート本番	108

(2) 阪神 NPO 連絡協議会

詳細については生きがいしごとサポートセンター阪神北に再掲

(3) 他の中間支援組織の支援と連携

1) 特定非営利活動法人おおさか元気ネットワーク (OGN) の事業支援

大阪府社会起業家支援プロジェクトの1員として2年間の支援の末、4月に大阪府から特定非営利活動法人の認証を受けた。申請書類の作成、登記を行った。大阪府社会起業家育成支援基盤づくり事業「中間支援の基盤づくり」助成金300万円を企画コンペで獲得し、起業家カフェを6回、出前カフェを6回、NPO見本市3回、起業講座や相談事業などを行った。また、社会起業家ファンドの推薦を行い4団体に交付された中で、引きこもりの就労支援をする「情報センターISIS大阪」と会計サポート「アイティブ・サポート」の2団体のコンサルを行った。

2) 富田林市市民公益活動推進懇談会から市民活動センターを設立支援

15回の懇談会を持ち市長に8月23日提言した。11月に市民活動支援センターを設立。その後富田林市と市民団体、OGNとが「市民活動わくわく広場inとんだばやし実行委員会」を立ち上げ、3月26日「市民活動わくわく広場とんだばやしひろとん」を開催した。

3) 特定非営利活動法人市民事務局かわにしへの支援

昨年1年間の相談事業をパレット川西で行っていたが、その時にNPO法人格を取得したいとの相談を受け、講義や書類作成の支援を行い、4月に法人が認証された。その直後にJR福知山線列車事故が起こり、設立代表者の子どもが事故に出会ったこともあり事故負傷者や被害者家族の支援を行うことを事業の柱にした。また、中間支援組織としてどう活動していくかというアドバイスをし、サテライト相談所としての活動を前年度に引き続き行った。

活動のための資金として、ひょうごボランティアプラザのチャレンジ助成の獲得や兵庫県コミュニティ・ビジネス創出・育成支援事業の補助金獲得のサポートを行った。

4) 特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのおへの支援

本年度より、みのお市民活動センターが指定管理事業者として市から指定された。また、市よりコミュニティ・ビジネスを推進して欲しいとの依頼を受けたため、大阪府社会起業家育成支援基盤づくり事業の「中間支援の基盤づくり事業」補助金を受けたおおさか元気ネットワークと連携し、コミュニティ・ビジネスを箕面市に根付かせるための講座を企画、実施した。

まず、基本としてNPO・コミュニティビジネス相談事業のアドバイスをを行った。そして起業家カフェを7月24日開催。その後、コミュニティ・ビジネスの基礎から事業計画にいたるまでの講座を8回コースで行い、事業計画書まで作成できた団体が5団体うまれた。最終回では「アメリカのコミュニティ・ビジネス」の基調講演の後、その5団体のうちの4団体が事業のプレゼンを行い、参加者からの支援と支援金を寄付された。またこの日は市長もゲスト審

査に関わり、コミュニティ・ビジネスへの関心が強いことをうかがわせた。

5) A' ワーク創造館のコミュニティ・ビジネス相談事業の立ち上げと事業支援

5年前よりA' ワーク創造館よりコミュニティ・ビジネスの講座の講師として年間2回の講座を担当していたが、講座を行うばかりで相談機能がないため、起業家育成が出来なかった。職員から解決策はないかとの相談を受け、新事業を立ち上げることになり、大阪市や厚生労働省の助成金獲得の支援を行った。資金が出来たため事業を開始することになり11月CB&NP Oサポートセンター「ダッシュ」をオープンした。

その後NPO法人設立認証申請書類作成の支援を行い2団体がNPO法人として書類を受理された。7月認証予定の2団体は国際落語振興会(大阪)と関西青少年自立支援センターNOLA(奈良県吉野町)である。

相談事業として講座の後の個別相談を3件行い起業支援をした。また、ダッシュの運営をアドバイスする運営委員となり支援をした。

5. 調査研究事業

産官学民連携による都市再生事業(中心市街地活性化)に市民参画の促進の立場から参画し、市民の巻き込みについてアドバイスした。6月5日開催の都市再生フォーラムにおいて、市内で活動するNPOの活動紹介パネル展示を行った。

[宝塚市都市再生プロジェクトアドバイザー会議]

月	日	場所	内容
4	20	宝塚市立男女共同参画センター	都市再生フォーラムについて
5	11	宝塚市立男女共同参画センター	都市再生フォーラムについて
5	25	宝塚市立男女共同参画センター	都市再生フォーラムについて
6	5	宝塚市立男女共同参画センター	都市再生フォーラムについて
7	13	宝塚市立男女共同参画センター	都市再生フォーラム、社会実験について
8	2	宝塚造形芸術大学サテライト	都市再生プレゼンテーション(学生作品)
8	9	宝塚市立男女共同参画センター	社会実験について
9	2	宝塚市立男女共同参画センター	社会実験について
10	5	宝塚市立男女共同参画センター	社会実験について
12	15	宝塚市立男女共同参画センター	社会実験結果、次年度の取組みについて
1	31	宝塚市立男女共同参画センター	平成18年度の取組みについて
2	17	ソリオホール会議室5	「3大学と地域からの報告会」について

[宝塚市都市再生プロジェクト連携ワーキング]

- 4月16日 市役所大会議室
- 1月28日 市役所大会議室 社会実験報告

[都市再生フォーラム NPO 活動紹介パネル展示]

- ・日時 2005年6月5日(日)
- ・場所 ソリオホール会議室5

団 体 名	
特・森と地域のゼロエミッションサポート倶楽部	有・クルーズ

特・科学と市民社会のコミュニケーション	中州イカス会
特・さわやか社会教育プラザ	特・宝塚NPOセンター
特・めふのお家	特・シニアパワーを活かす会
特・宅老所 光明の家	宝塚市スローライフ実行委員会
特・国際情報科学協会	特・緑と花と輝きのまちづくり
特・日本ハーブティ協会	

[逆瀬川都市再生モデル調査]

宝塚市が国土交通省補助事業として「逆瀬川都市再生モデル調査」を実施するにあたり、市民参加の観点からオブザーバーとして参画し、地域活動のキーパーソンの紹介等に努めた。

月	日	内容	場所
7	11	事業打ち合わせ	甲子園大学
7	20	事業打ち合わせ	逆瀬川再開発事務所
7	22	実行委員会メンバー調整意見交換	宝塚NPOセンター
7	26	実行委員会メンバー調整	宝塚NPOセンター
7	29	実行委員会メンバー調整	宝塚NPOセンター
8	2	実行委員会メンバー調整	国際文化センター
8	9	実行委員会メンバー調整	宝塚NPOセンター
8	10	準備会開催	逆瀬川都市開発事務所
10	28	実行委員会 社会実験について	逆瀬川都市開発事務所
3	6	実行委員会 調査のまとめ他	逆瀬川都市開発事務所

[調査・視察等]

NO	月	日	団体名	人数	目的
1	7	5	龍谷大学 学生	1	地域通貨 ZUKAについて
2	8	5	(特)市民セクターよこはま	5	NPO, CDCの現状と今後の課題
3	10	3	奈良県職員政策形成研修グループ	5	地域団体とコミュニティとの関係について
4	10	26	東京大学大学院経済学研究科	1	阪神・淡路大震災以降のNPO法人の活動について
5	11	4	松山NPOサポートセンター	1	コミュニティ・ビジネス支援の実務と留意事項について
6	11	29	神奈川ネットワーク運動・伊勢原	2	地域通貨とコミュニティ作りについて
7	11	29	福井大学建築建設工学科都市計画研究班	2	宝塚市の都市再生における産官学民の連携と活動状況
8	1	13	堺市政策形成能力養成研修	2	地域通貨 ZUKA について

6. 子育て支援事業

(1) みるくっく宝塚

阪神・淡路大震災の教訓を忘れず、地域の人と人とのあたたかいつながりを大切に、少しでも子育て中の親支援を中心とした子育て支援を目的に事業を展開して2年目を迎えた。

昨年は90名の登録があり、今年度はそれを上回る98名の登録があった。昨年度と比較してげんきつきコース（曜日時間指定利用）の利用が特に増えており、昨年の約1.5倍以上の増加となっている。また、月極に関しても昨年度は平均して月1.6人だったのが今年度は3.9人と約2.4倍の増加になった。その他一時保育に関しても、コープやシネピピア（映画館）の利用者の増加もあり一時保育全体では約1.4倍の伸びを示している。

保育利用者全体では約1.5倍の利用の増加したこととなる。利用者が増加した要因としては、広報に力を入れたことによって認知度が広がってきたことや、利用者の口コミで増加したことが言える。

保育内容については、新たに親子のふれあい・交流を図るために、親子遠足会や親子運動会などの行事を新規に開催し大変好評であった。また、地域との交流イベントとして、めふ親子カーニバルを開催し、親子60組約120名の参加があった。

新年度からは、三田市にあるNPO法人保育ネットワーク・ミルクに運営委託をすることになり、引き続き宝塚NPOセンターとしても、広報などできる限りの支援は行っていきたい。

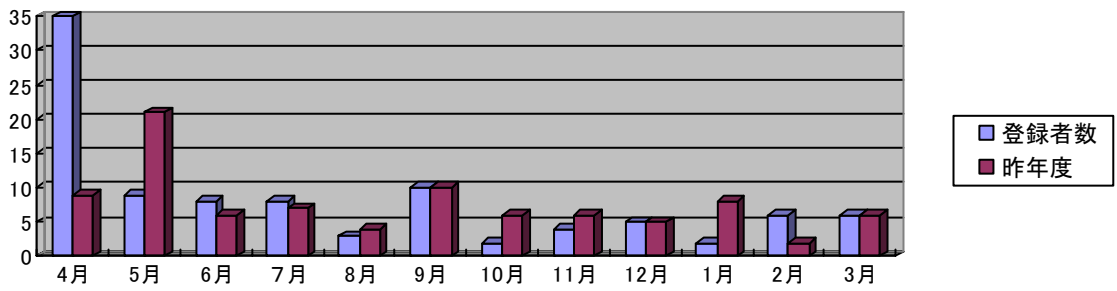
(利用実績)

【() 内は昨年実数、単位：名】

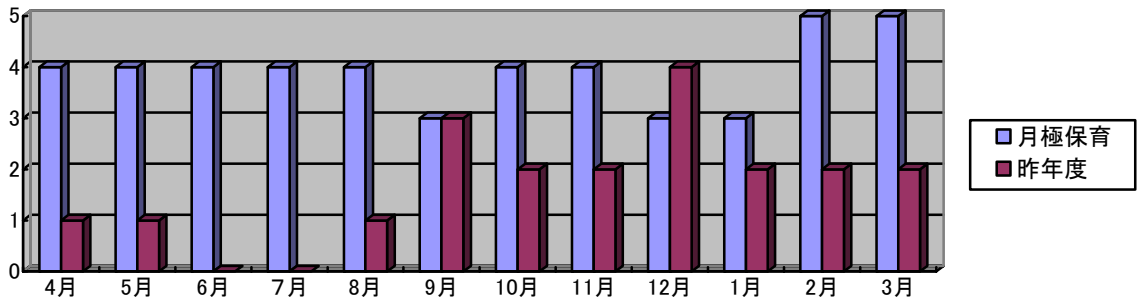
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
登録数		35 (9)	9 (21)	8 (6)	8 (7)	3 (4)	10 (10)	2 (6)	4 (6)	5 (5)	2 (8)	6 (2)	6 (6)	98 (90)	
利用 内 訳	月極保育	4 (1)	4 (1)	4 (0)	4 (0)	4 (1)	3 (3)	4 (2)	4 (2)	3 (4)	3 (2)	5 (2)	5 (2)	47 (20)	
	げん き っ き コ ー ス	週1回	7 (1)	9 (2)	11 (5)	12 (4)	12 (4)	12 (3)	11 (2)	11 (2)	12 (3)	14 (6)	10 (5)	12 (6)	133 (20)
		週2回	5 (2)	6 (1)	10 (4)	10 (6)	9 (6)	11 (6)	11 (6)	13 (5)	11 (5)	10 (6)	12 (10)	10 (9)	118 (66)
		週3回	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (4)	0 (5)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (3)	4 (31)
		計	13 (4)	16 (4)	22 (10)	23 (11)	21 (11)	23 (11)	22 (12)	24 (12)	23 (13)	24 (16)	22 (18)	22 (18)	255 (140)
	一 時 保 育	一時保育	30 (5)	26 (26)	25 (35)	22 (26)	15 (16)	23 (27)	25 (21)	10 (20)	23 (13)	23 (21)	31 (10)	39 (6)	292 (226)
		コープ	23 (24)	25 (20)	25 (21)	19 (14)	15 (9)	24 (11)	22 (7)	20 (11)	23 (11)	24 (7)	12 (9)	15 (17)	247 (161)
		シブピア	1 (3)	3 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (2)	4 (3)	5 (1)	4 (3)	1 (6)	1 (0)	9 (5)	7 (0)	47 (21)
		計	54 (29)	54 (46)	54 (56)	45 (41)	34 (27)	51 (41)	52 (29)	34 (34)	47 (30)	48 (28)	52 (24)	61 (23)	586 (408)
	合計		71 (34)	74 (51)	80 (66)	72 (52)	59 (39)	77 (55)	78 (43)	62 (48)	73 (47)	75 (46)	79 (44)	88 (43)	888 (568)

※登録者数・・・月極、げんきっき、一時保育（コープ利用者を除く）の利用者を示す。

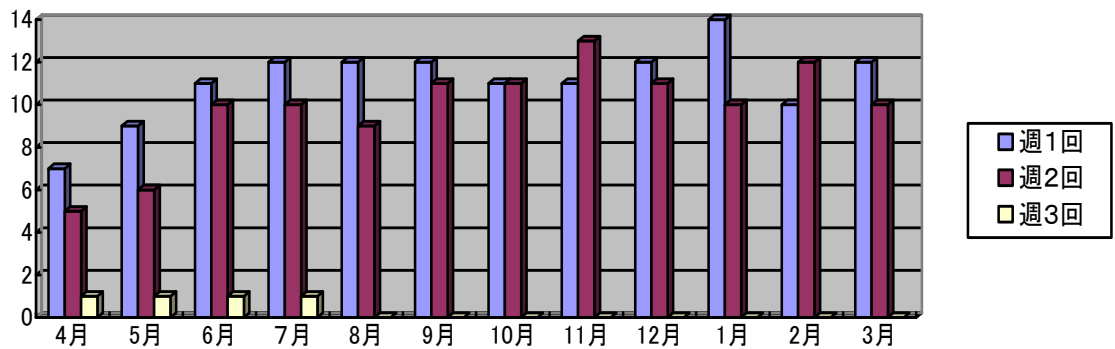
【登録者数】



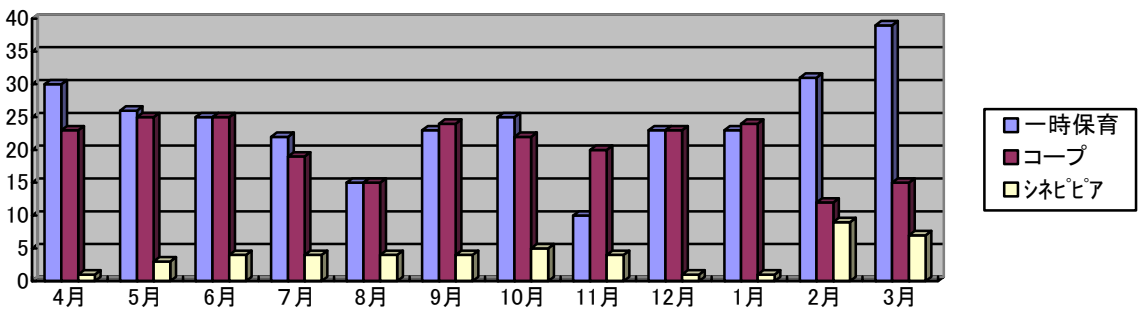
【月極保育】



【げんきつきコース】



【一時保育】





（2）プレーパーク（冒険遊び場）

昨年度に引き続いて2年目を迎えたプレーパーク活動（冒険遊び場）であるが、本年度も宝塚市子ども居場所づくり事業の一環として実施した。

活動場所は芝生広場から体育館横の空きスペースに移動し、芝生広場ではできなかった泥んこ遊びやハンモック、木登りやタイヤブランコなど新しいプログラムにもチャレンジすることができた。ただ、少しわかりにくい場所のため参加者へのPRは「プレーパーク」の掲示だけではなく、公園に来園している親子や子どもたちに当日リーダーが直接呼びかけるなど積極的な広報も行った。

子どもたちと遊ぶプレーリーダー役は主に大学生に担ってもらっているが、日によって人数に幅があるので、今後は常時活動できるプレーリーダーの確保と運営全体をサポートしてもらえる地域住民のかかわりが重要な検討課題である。

- ・開催時間：13：00～17：00（冬季は16：00まで）
- ・開催場所：末広中央公園
- ・対象年齢：主に幼児から小学生

月	日	主な内容	参加者：人
4	16	木工遊び、お絵かき、ボール遊び、大なわとび、など	45
4	23	木工遊び、お絵かき、ボール遊び、大なわとび、など	40
5	7	木工遊び、お絵かき、ボール遊び、ブランコ、など	35
5	14	木工遊び、お絵かき、ボール遊び、水遊び、など	40
5	21	木工遊び、お絵かき、ボール遊び、水遊び、など	50
6	25	木工遊び、お絵かき、ボール遊び、水遊び、など	28
7	16	水遊び、お絵かき、ブランコ、ボール遊び、など	25
7	23	水遊び、お絵かき、大なわとび、ボール遊び、など	20
8	6	水遊び、お絵かき、大なわとび、ボール遊び、など	10
8	27	水遊び、お絵かき、大なわとび、ボール遊び、など	10
9	3	水遊び、台車遊び、ブランコ遊び、など	10
9	10	水遊び、台車遊び、ブランコ遊び、など	15
10	8	水遊び、台車遊び、お絵かき、ボール遊び	10
10	29	穴掘り、ダンボールハウス、タイヤブランコ、お絵かき	10
11	5	水遊び、泥んこ遊び、タイヤブランコ、お絵かき、ハンモック、など	30
11	12	穴掘り、泥んこ遊び、タイヤブランコ、お絵かき、ハンモック、など	30
11	26	穴掘り、泥んこ遊び、タイヤブランコ、お絵かき、ハンモック、など	20
12	3	土遊び、サッカー、大なわとび、お絵かき、ハンモック、など	30
12	10	穴掘り、お絵かき、ハンモック、サッカー、など	20
12	24	お絵かき、秘密基地づくり、ハンモック、など	5

1	21	お絵かき、秘密基地づくり、サッカー、など	10
1	28	お絵かき、サッカー、など	10
2	18	お絵かき、サッカー、なわとび、など	10
2	25	お絵かき、サッカー、なわとび、秘密基地づくり、水遊び、など	40
3	4	お絵かき、サッカー、なわとび	30
3	25	お絵かき、サッカー、なわとび、水遊び、野球	40
合 計			623

※尚、この事業は、宝塚市の「子どもの居場所づくり事業」として実施している。

7. インキュベーション事業（阪神北 NPO ハウス）

宝塚 NPO センターでは、阪急逆瀬川駅近くに社会的起業家インキュベーションセンター「阪神北 NPO ハウス」を運営している。また、生きがいごと SC 阪神北での起業希望者で事務所や拠点を探している方も、起業に伴い入居されています。

(1)交流スペース・・・地域に開かれた場所として入居団体はもちろんのこと地域の自治会などに幅広く使用されている。

月別利用状況

月	利用頻度	利用人数
4月	9	101
5月	7	80
6月	10	107
7月	9	104
8月	9	112
9月	8	77
10月	6	61
11月	7	85
12月	7	75
1月	5	59
2月	7	73
3月	9	111
合計	93	1045

利用者団体内訳

利用団体名	利用目的
高齢者問題を考え行動する会	ミニデイサービス
特・おしゃれでde!げんきに訪問へアカットサービス	研修
ぶどうの会	ふれあいサロン
中洲1丁目自治会	役員会議
中洲自治会	役員会
一小まちづくり策定委員会	まちづくり計画
一小コミュニティ福祉部	会議
ゆとりの会	地域老人会
コミュニティ健康福祉部会	健康講座打合せ
コミュニティ5ブロック会	ブロック活動の協議
(株)セイコー警備	警備員教育
(有)クルーズ	企画会議

[阪神北 NPO ハウス 入居者一覧表]

No	入居団体名	契約年月日	活動内容	入居部屋	備考
1	(特)さわやか教育プラザ	2004年11月1日	社会教育/講座開催	203号室	市内 NPO 法人
2	高齢者問題を考え行動する会	2004年12月1日	高齢者福祉/週1回ミニデイサービス開催	101号室	任意団体
3	(特)森と地域のゼロエミッション	2005年1月15日	環境政策	203号室	市内 NPO 法人
4	(有)クルーズ	2005年2月15日	情報誌、リーフレットの企画・製作	101号室	2005年8月31日独立
5	(株)セイコー警備	2005年7月14日	警備/地域の安全	203号室	
6	外出支援センターチャレンジャー	2006年2月28日	外出支援	101号室	

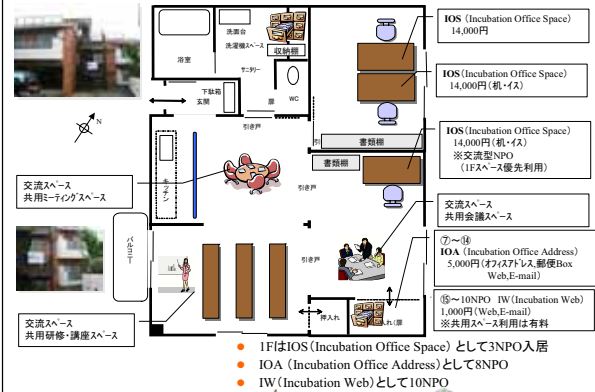
阪神北NPOハウス Social Entrepreneurs Incubation Center (SEIC) ～社会的起業家インキュベーションセンター～

- 24NPOのコラボレーション
6NPO IOS (Incubation Office Space)
…14,000円～; オフィススペース, 郵便, Web, E-mail
8NPO IOA (Incubation Office Address)
…5,000円; オフィス・アドレス, 郵便, Web, E-mail
10NPO IW (Incubation Web)
…1,000円; Web, E-mail, ※共用スペースは有料
- 宝塚の伝統的な中心地「中州」に立地
- 地域コミュニティの交流拠点にコミュニティ・ベースのNPOの拠点をつくる



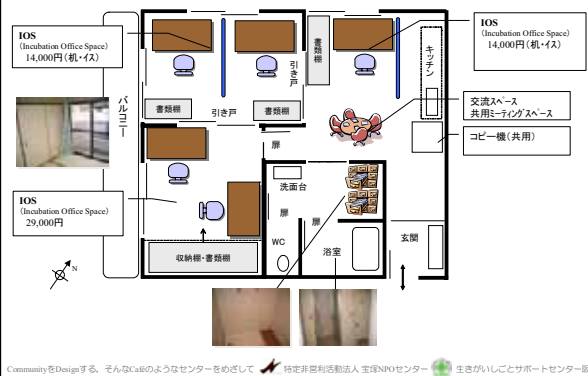
CommunityをDesignする。そんなCa6のようなセンターをめざして 特定非営利活動法人宝塚NPOセンター 生きがいごとサポートセンター-阪神

Social Entrepreneurs Incubation Center (SEIC) 1F



● 1FはIOS (Incubation Office Space) として3NPO入居
● IOA (Incubation Office Address) として8NPO
● IW (Incubation Web) として10NPO

Social Entrepreneurs Incubation Center (SEIC) 2F



CommunityをDesignする。そんなCa6のようなセンターをめざして 特定非営利活動法人宝塚NPOセンター 生きがいごとサポートセンター-阪神

関連情報

- 阪神NPOネットワーク (Hanshin NPO Network)
<http://voluntary.jp/hnpo-net/>
- 阪神北NPOハウス 利用スケジュール <http://www.doblog.com/weblog/myblog/3431>
- 入居団体 (2006.3)
 - ・IOS (Incubation Office Space)
 - (1) 高齢者問題を考え行動する会
 - (2) ティラレジャ
 - (3) NPO法人 さわやか社会教育プラザ, STEP会計相談室
 - (4) NPO法人 森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部
 - (5) 株式会社セイコー警備
 ※残り, 1団体 (2Fの1ブース)
 - ・Incubation Office Address
 - (1) NPO法人 Social Design Fund <http://voluntary.jp/sdf/>
 - ・IW (Incubation Web)
 - (1) 良子のかけはし工房 <http://voluntary.jp/kakehashi/>
<http://www.hnpo.net/nyoshiko-chan/>
 - (2) 子どもがつくる夢ねっと <http://voluntary.jp/yume-net/>
 - (3) ComiPal <http://voluntary.jp/comipal/>
 - (4) 阪神バスマップ実行委員会 <http://www.doblog.com/weblog/myblog/43215>
 - (5) 保育ネットワークミルク <http://www.hnpo.net/n/milk/>

(2) 阪神北NPOハウス セミナー

1. 阪神北NPOハウスの趣旨・・阪神北NPOハウスのフリースペースでの全労済・近畿労働金庫・宝塚NPOセンターの研修を設定して、より地域に密着した社会貢献活動
2. 阪神北NPOハウス目的・・阪神北NPOハウスへの認知度向上と利用促進
3. 実施内容

月	日	テーマ	講師	参加者
11	16	『自分の保険保障を見直して見ませんか?』 ～家計の保険料負担を軽くしません	全労済 兵庫県本部地域推進課 廣田 一也 課長	15
12	21	『かしこいお金とのつきあい方 PART 1』	近畿労働金庫 地域共生推進センター 中須 雅台 主幹	13
1	18	ご近所の健康チェック 『地域・家族ぐるみの健康づくり』	全労済兵庫県本部地域推進課 廣田 一也 課長 宝塚医療生協 高松診療所 幹所長 医療スタッフ4名	17
2	15	『かしこいお金とのつきあい方 PART 2』	近畿労働金庫 伊丹支店 津田 敏行	10
3	15	「地域の介護について・介護相談」	全労済 在宅介護サービスセンター あまがさき所長 和田 光弘	13
合計				68

(3) 阪神地域安心お助けネットWeb

(平成17年度ひょうごボランティア基金企業・NPO協働奨励事業、助成金額：30万円)

事業概要：NHKの「ご近所の底力」と同じようなコンセプトで「地域住民の相談に対し、地域で活動しているNPOやコミュニティ・ビジネス（CB）が相談に応じる」、その相談サービスをブログを使って効率的に行い、相談プロセスを「地域の知恵袋」としてWebに蓄積していくシステムを開発・運営した。

期待される効果：

- ①地域で生活している中で困った問題を身近な地域で活動しているNPOやCBが解決。
- ②NPO同士のコミュニケーションが活発化し、地域の課題解決能力が高まる。
- ③一連の「課題発見→相談→課題解決」プロセスをデータベース化してWebに蓄積（Web上でキーワード検索が可能）
- ④同時にブログを利用してNPOやCBの情報発信力も高め、「だれ・どのように」相談に応じ解決したかを明らかにすることで、NPOやCBのサポーターも増やす。

(4) 公共交通へのモーダルシフトを通じた環境配慮生活啓発事業

～バスでおでかけ地域情報Web～（平成17年度行政・NPO協働事業、金額：30万円）

事業概要：温暖化防止の有効な手段のひとつである自家用車からバスなどの公共交通機関へ利用転換を促進するため、利用者（阪神都市圏エリア人口170万人を対象）の立場に立ったバスマップ作りに取り組む。

広島、岡山、松江、福井など紙ベースのバスマップはいくつかあるが、地域情報Webと連携した事例は無く、利用者の使いやすさ・便利さという点で課題を残している。

本提案事業では、「紙ベースのバスマップ」と「バスでおでかけ地域情報Web」を連携させ、公共交通へのモーダルシフトを通じた環境配慮生活の普及・啓発を行う。

ブログを利用して、バスマップ作りに参加しませんか
**「バスマップ」があれば、
子どもも大人もめっちゃ便利!**

阪神北県民局/宝塚NPOセンター

あなたはふだん、バスに乗りますか？ 阪神間には1600～1700ヶ所ものバス停があります。バスを使えば、阪神間の移動はとても便利！

宝塚市内には阪急バス、阪神バス、伊丹市バス、阪急田園バスが運行していますが、これらの全路線を網羅した地図はありません。つまり、バス停の情報が入手しにくいので、せっかくの路線を活用できていないケースも多いよう。たとえば、同じバス停名だけど別会社のために場所が違ったり、逆に別の名前前のバス停がすぐ横に立っていたり。バス会社の枠を超えた路線図があれば、目的地までのルートも一目瞭然。効率よく移動ができるはず！ しかも、みんなが自家用車からバスに乗り換えれば、温室効果ガスの削減にも貢献できる…。

そこで、阪神北県民局と宝塚NPOセンターでは、みんながバスをもつ

と活用できるような「バスマップ」作りを計画。さまざまな生活者の視点を取り入れたり、鉄道や航空機との乗りつぎがうまくいくような情報も盛り込んだマップにしたいと考えています。

バスマップ作りには、NTTデータ経営研究所の協力を得て作るブログ。携帯電話からアクセスするモブログを活用します。活動は今、始まったばかり。事務局では、「〇〇に行くときバスを使っています」「このバス停の近くにおすすめのお店あり」など、バスに関する情報を募集しています。

みんなで力を合わせて、楽しくて便利なバスマップを作りませんか。

詳しくは、宝塚NPOセンターのホームページでチェック!
<http://www.hnpo.net/>

松江市で制作されたバスマップ
地域内のバス停と周辺の情報がまとめられています。

8. インターン受入

インターン	氏名	期間
日産NPOラーニング奨学生	加藤友佳子	6月～ 300時間
関西学院大学アドシスト実習	家田葵	6月～12月31日 240時間以上
兵庫県教職員社会体験研修	北治修一	10月11日～11月10日
兵庫県職員ボランティア研修	金岡美千代、田中哲人 村上公一、山根広美	8月19日～ 3日間
宝塚市役所受入インターン (関西学院大学総合政策学部)	吉田茜 安田さおり	8月19日
大阪経済法科大学	中村利明	8月22日～8月26日
園田学園女子大学	芝辻侑季、鈴木舞、井上尚 黒田菜央、樺祐紀菜	10月～2006年1月(10日間)

9. ボランティアの参加

NPOにとってボランティアの存在は大きい。今年度も30名近くのボランティアが日常業務に貢献いただいた。業務内容としては例えば、データのパソコン入力や講座等の資料作成、情報誌の分類・整理やニュースレターの印刷・発送作業、あるいはイベントの運営補助など、多岐にわたる常務の運営に携わっていただいた。また、本年も近畿ろうきんのNPOパートナーシップ制度として2名のボランティアを受入れた。

[ボランティア参加者の感想]

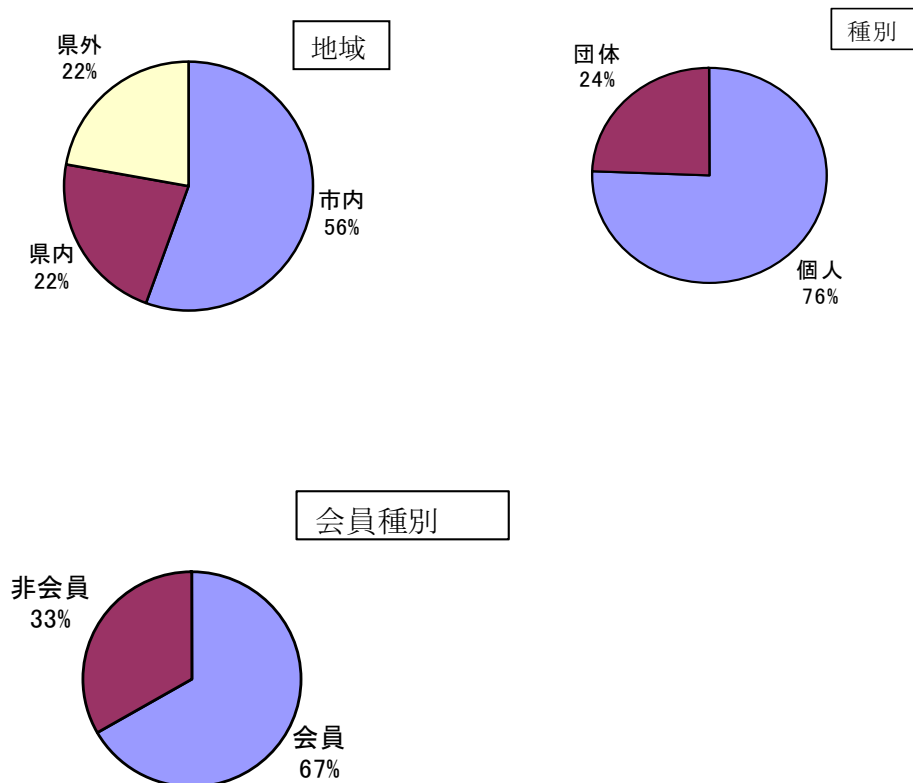
- ・ボランティアを始めてから半年が経とうとしています。楽しかったという思いです。NPOのことは何も知らなかった私でしたが、いろんなことを教えていただき、私の方がボランティアをしていたような感じです。勉強になりました。もっと仕事を覚えてNPOにはなくてはならない人材になればと思っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	11	9	9	7	9	7	9	7	9	6	7	5	95
時間	171	155.5	219.5	387	388	338.5	340.5	268	204	105	67.1	95.2	2739.3

10 . 寄付

2005年度の寄付総額金額：2,681,954円（34人、11法人・団体）

地域別にみると宝塚市内の寄付者数が半数を超えており、残りは兵庫県内と県外とで二分されている。また種別については個人が7割以上を占め、その他はNPOや株式会社などの団体からの寄付となっている。会員種別については、会員からの寄付者の割合が7割弱を占めており、非会員からの寄付は3割弱ではある。



11. 17年度新規事業

(1) ひょうごボランティア基金中間支援活動助成（金額：100万円）

～NPO法人のキャパシティ・ビルディングを実現する会計相談事業～

目的：会計分野の相談体制を再整備することによって、相談団体のニーズを満たし、組織外部の会計専門家とのネットワークをつくり、かつセンター職員の相談技術向上を図る。

概要：毎週火曜日に会計相談日を設置し、生きがいごとサポートセンター阪神北事業のCBコンサルティング事業でも対応している。法人設立相談・起業相談時には事業計画作成とあわせて収支予算書の作成をサポートするが、その際に会計専門相談員と職員が同席することで、団体立ち上げ後の会計相談との継続性が生まれる。さらに、会計の発生時からの対応と団体事務所に赴くことによって多様な活動における会計処理の現状を把握することが可能となり、相談技術の向上が図られる。今回の助成金にて、個々のNPO等の要望に対してきめ細かに対応できる体制へ向けた基盤整備を行う。

- 目標：①支援NPOの会計課題（日常記帳・入力業務から決算、税等申告書作成まで）解決と満足度の向上（ステークホルダーに対する説明責任の遂行）
- ②会計相談対応職員・スタッフの養成
- ③センター職員の相談技術の向上

相談件数：53件

成果：①当初（申請時）に想定・想像していた以上に、各々のNPOの会計業務は非効率な状態であった。主な原因は専門知識がなくボランティアベースで担当しているため処理が粗い、専門知識が無いスタッフに必要以上の給料を出している、リーダーが日々の会計も担当していて本来の業務が疎かになっている、PCを使用できないため手書き、伝票や領収書の処理さえ出来ていないなど、結論としては、約半年で各団体数回の個別相談では解決の方向性さえ見えない団体が多かった。

②18団体に対し会計サポートサービスを提供。

うち個別相談へ進展が12団体。

うち継続して宝塚NPOセンターと会計専門家によるサポートが9団体

うちモデルケースとして宝塚NPOセンターの職員研修を同時に6団体

③信頼できる会計の専門家との連携関係を構築できた。個別相談を主に担当していただいた増本典子さんと丸山美鈴さんとは、本事業の対象回数を終了した後も、上記10団体に対して団体の自己負担で会計相談を継続して行っている。上記10団体からの評価も高く、各団体のキャパシティビルディングに貢献できている。一方で各団体の支払う相談料と会計専門家のサービスとのバランスという難しい問題も生じ始めている。相談料に比べて各団体からの要望が煩雑すぎるケースが生じている。

（2）地域ビジネス交流サロン事業

契約の目的	マルチネットワーク形成事業
契約の趣旨	・地域の活性化をめざす事業者・企業やコミュニティビジネスの起業家、これから起業しようとしている人との交流と情報交換の場づくり。 ・コミュニティビジネスの仕掛けづくり。
対象者	・宝塚市および近郊の商店主、企業、コミュニティビジネスの起業家 ・起業を検討している団体や個人
事業内容	「マルチネットワーク交流会の開催
協働先	兵庫県阪神北県民局
契約金額	300,000円

◆事業内容

・日程：2005年12月15日 ・場所：宝塚市立男女共同参画センター

15：00～16：30 基調講演 「既存事業者とCB起業家との連携のコツ」

ゲストスピーカー 三和清明((特)おおさか元気ネットワーク理事長)

16：10～17：15 話題提供者との情報交換会

商店主/企業/起業家からの発信：活動内容紹介、協働提案、支援依頼など

(有)クルーズ久保氏・(有)クロスロード佐藤氏・河本本舗 河本氏

17:30~19:30 交流会

各団体の事業紹介、ビジネスプランについての意見交換、協力者募集など

◆事業の具体的効果

- ・地域課題解決に取り組む起業家や団体どうしの出会いと交流の場(プラットフォーム)を設置することができた。
- ・参加者同士が事例紹介や意見交換を通して、ビジネスマッチングやネットワークの糸口がつかめた。
- ・第1段階として地域の活性化ができる環境が整えられた。

①(有)クルーズ：地域情報誌 ComiPa!を媒体としてコミュニティ・ビジネスの広報を支援

⇒地域安心お助けネット ⇒グリーングレースなどの広告掲載

②(株)クロスロード：地元の商店街と連携イベントを開催

③参加 NPO が地域安心お助けネットシステムで連携

⇒参照；<http://www.hnpo.comsapo.net/>

(有)クルーズ地域情報誌 ComiPa!編集室、(株)クロスロード・りびんぐるーむ、NPO 法人市民事務局かわにし、(有)ケアステーションマスカット、NPO 法人森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部、高齢者問題を考え行動する会、ソーシャルデザインファンド、NPO 法人宝塚 NPO センターなどの交流が深まり、Web 上の地域の悩みごと相談サービスで新たな連携が生まれた。

④(株)セイコー警備が地元の就職弱者を雇用

阪神北 NPO ハウスに入居し、退職者など地元の就職弱者を優先的に雇用し、働く機会を提供することとなった。

⑤アピア逆瀬川との連携

兵庫県の空き店舗対策助成金を申請し、NPO 法人宝塚 NPO センター、NPO 法人さわやか社会教育プラザ、(株)クロスロード・りびんぐるーむ、(株)逆瀬川都市開発と連携して、逆瀬川アピアの事業者とも連携して、商業施設の集客向上と新規顧客開拓を視野に入れた活性化プロジェクトの立ち上げで調整に入った。

[政策提言活動]

審議会・委員会等の委員委嘱を受け提言活動を行った。

(森) 兵庫県まちづくり政策審議会委員、兵庫県総合事業等審議会委員、兵庫県民生活審議会総合政策部会委員、大阪府地域福祉サポーターズ倶楽部推進委員会委員、大阪府社会起業家委員会委員、兵庫県若年者雇用問題検討会委員、大阪府地域福祉課題解決型コミュニティビジネス審査会委員、箕面市行政評価・改革推進委員会委員、富田林市市民公益活動推進懇談会委員、ひょうごボランティアプラザ運営協議会・幹事、先進的取り組みパイロット事業審査委員会委員、兵庫県若年者雇用問題検討会

(山本) 宝塚市環境審議委員、宝塚市労働問題審議会委員、宝塚市都市再生プロジェクトアドバイザー会議委員

(金森) 成熟社会に向けた地域づくり懇話会委員、公共交通利用促進会議委員

(寺本) フレミラ運営委員会委員、宝塚市子どもの居場所づくり推進協議委員、宝塚市次世代育成支援行動計画推進地域協議会委員